

平成 25 年度 第 2 回脊髄モニタリングワーキンググループ議事録

日時： 平成 26 年 1 月 31 日（金）19:00～21:00

会場： ステーションコンファレンス東京 503-A

出席者：松山幸弘委員長、谷俊一アドバイザー、安藤 宗治、和田簡一郎、
伊藤全哉、寒竹司、小林祥、川端茂徳、藤原 靖、山田 圭、
山本直也、木田和伸各委員

議事録

1 , 平成 25 年度ハズオンセミナーの実施報告

受講者の感想からは、有意義な講習であったのが、ほとんどであった。
とくに困った点はなかった。また、受講者は必ず終了報告書を提出する
ことを確認した。

2 , Br(E)-MsEP のアラームポイント策定

頸椎 OPLL TP であった 6 症例を検討した。

胸椎 OPLL 椎弓切除時に振幅低下することが多く、そのアラーム
ポイントは 30-15%と考えられた。

脊柱側弯 derotation 時に振幅低下することが多く、5 例の TP
症例を検討した。

脊髄腫瘍 髄内と髄外腫瘍の TP26 症例を、索路障害と髄節障害を
分けて検討した。

麻痺症例 術前麻痺があった TP6 症例の振幅低下の割合を検討した。
また、平成 25 年度の TP19 症例の波形変化を検討した。

3 , 次回開催予定

平成 26 年 4 月 18 日 7 時日本脊椎脊髄病学会（京都市）の開催時に
ワーキンググループ開催予定とした。